

佐賀県保育幼児教育センターだより

第3号 令和7年2月26日

佐賀県保育幼児教育センター（佐賀県こども未来課） ☎ 0952(25)7616

Fax0952(25)7339

hoikuyouchien@pref.saga.lg.jp

幼稚園等
教育課程
佐賀県協議会

レポート

9月⇒1月

9月に幼児教育施設、小学校、行政等の関係者が一堂に会しての協議会が開催されました。いろんな立場の皆さんが同じテーブルで実践発表（筑水こども園、晴田幼稚園）を基に「幼保小の接続」について和気あいあいと語り合いました。そのときの実践発表の内容の一部と、今なお深まっている連携の取組や発表後の変化についてレポートします。



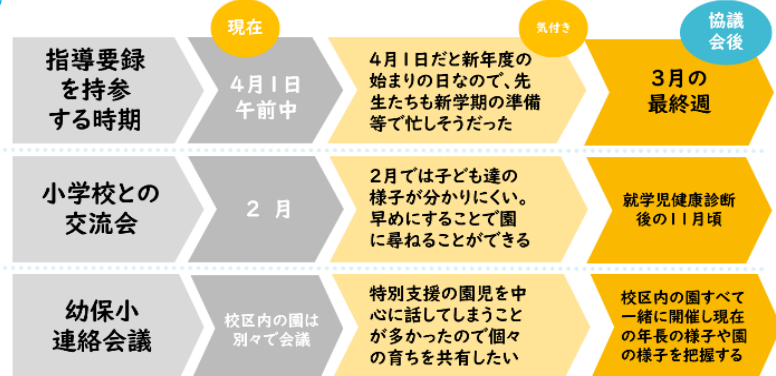
子どもの健やかな育ちを思い浮かべながら熱心で真剣な雰囲気の中でも、笑顔あふれる協議が進められました。

筑水こども園（みやき町）

《実践発表》

筑水こども園
園田真弓先生
小田真弓先生

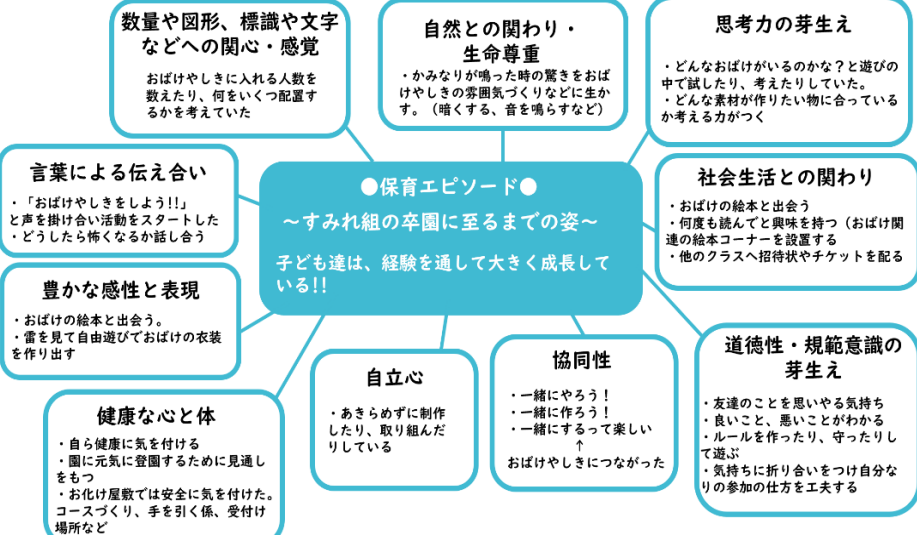
小学校の先生と直接ひざを交えて語ることで改善できたことをご発表！



令和6年度幼稚園等教育課程佐賀県協議会筑水こども園発表資料より

10の姿を手がかりにした保育エピソードのまとめ

“10の姿”でエピソードをまとめたことで、こどものよさや育ちを小学校に伝えやすかったそうです！



令和6年度幼稚園等教育課程佐賀県協議会筑水こども園発表資料より

《参会者の声》

- 日々の保育を「10の姿」でふりかえることで、より子どもの理解が深まり、それが小学校へつなぐ架け橋になるんだと筑水こども園の発表を聞いて改めて学ばせていただいた。
- 実践発表では、「卒園までに育てるのではなく小学校以降に花が開くように」という言葉が印象的でした。

発表を
終えて
深まる実践
(12月)



- 幼保小で話し合える風土ができたので、お互いにできることをやろうと思っています。（例えば、入学後の登下校が心配という話を聞いたので、安全面に配慮した登園練習について、園だよりでお知らせするなど）
- 町内の3園の先生達と話し合い、小学校入学前に、何度か交流会（ドッチボール大会など）を開催して、子どもたちが顔を合わせる機会を作ろうと計画中。小学校に入学したときに、知っている子がいることで、安心して人間関係を築けるのではと思っています。

末廣彩夏先生

[illegible]

令和6年度幼稚園等教育課程佐賀県協議会晴田幼稚園発表資料より

A group of children and adults are gathered outdoors for a community event. In the foreground, the backs of several children's heads are visible as they watch the activity. In the middle ground, a group of children are wearing colorful, festive hats (yellow, pink, blue) and costumes, some with long skirts. They appear to be participating in a parade or a dance. Adults are also present, some standing and watching, others interacting with the children. The background shows a paved area and some trees under a clear sky.

園児が作った連凧(れんだこ)が空高く舞いました。5年生の力強い姿に園児もあこがれを感じたようです。



- ・協力いただいた 2 園の先生方には深くお礼を申し上げます。ありがとうございました。
- ・今後とも、架け橋期の教育の充実を図っていらっしゃる取組についてレポートしていきたいと思っています。